

なぎさ

京急のまちマガジン

TOWN MAGAZINE NAGISA OF KEIKYU

June 2016 No.596

特集

サンタバルカ号が

見てきた沿線の風景

What a
wonderful world♪



やっぱり赤が好き

小学4年の春、緑の電車の沿線から「金沢文庫」に引越した。
高校は「上大岡」にある学校へ。

赤い電車で通学するはずが、

部活の方針で、ほぼ毎日往復ランニング通学。

大学は、都内の学校へ。

「品川」で乗り換えるはずが、

クラブの合宿所が、横須賀佐島にあったため、

下りホームから「新逗子」へ向かうことが多かった。

社会人になってからは、「金沢文庫」の実家を離れて、

紫、グレー、紺の電車の沿線に住んだ。

15年前に、「屏風浦」に戻ってきた。

子どもの頃からある駅前のロイヤルホスト。

窓側の席からは、京急が目の前を走る。

「赤、青、黄色……でもやっぱり赤が好き」

と5歳の息子が言った。

作／K・I



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「お父さん、3年前に見た三浦海岸の夕陽を覚えていますか？ あれから……」
京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

■応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。

詩とタイトル（詩は300字程度）、郵便番号、住所、氏名（匿名希望の場合はペンネームも）、年齢、性別、電話番号、（Eメール応募の場合）メールアドレス、本誌のご感想

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード（1,000円分）を進呈します。※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります。※応募作品の使用権は京浜急行電鉄（株）に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます。

■締め切り／6月20日（月）消印有効

■応募先／〒108-0074 港区高輪3-25-23 京急第2ビル3F（株）京急アドエンタープライズ『なぎさ』596号 詩募集係

E-mail : nagisa.hiroba@keikyuu-ad.co.jp



特集

サンタバルカ号が

見てきた沿線の風景

羽田空港国際線の新ターミナルが開港し、
空の旅が広がった。

みんなの夢を叶えるために、

そこには多くの人が関わっている。

立役者のひとりに、船乗り歴半世紀の

ベテラン航海士・永井等ひとしさんがいる。

サンタバルカ号の生みの親だ。





世界へ飛び立つ羽田空港に向けて、 サンタバルカ号、誕生。

「みなさん、そろそろ飛行機が飛びますよ〜」

船体のハッチから顔を覗かせていた永井さんが、乗客に声をかけた。

「あ、見て、スター・ウォーズの特別塗装機だ！」

2台のカメラを首に下げて待ち構えていた乗客達が、すかさずシャッターを切る。

ここは、東京の空の玄関口「羽田空港」を目前にした海の上。今日は永井さん主催による、横浜発「羽田空港新滑走路海上観覧」ツアーの開催日だ。海上にある羽田空港は、空の青と海の青の間に、赤い滑走路がラインを描く。そのキャンバスに浮かぶように、真っ白な船体にハイビスカスを描いたサンタバルカ号の姿があった。

サンタバルカ号は、新国際空港の開設工事のために誕生した交通船



2010年、羽田空港新国際線旅客ターミナルの開港により、世界との距離がグンと近づいた。京急線で品川駅から約11分。羽田空港は国内最多のフライト数を誇り、毎日、色とりどりの飛行機が飛び交う。





あの頃、サンタバルカ号は、 みんなの夢を運んでいた



だ。ハイビスカスは永井さんの奥さんが好きな花。小さくとも馬力抜群の船になるようにと願いを込めて、イタリア語で小さな船という「バルコ」から「聖なる小舟」サンタバルカ」と名付けた。当時の交通船では新参者だったが、その色鮮やかな船体に大手建築会社の現場所長が一目惚れ、「これは目立っていいな!」と、担当船に選ばれた。

その後サンタバルカ号は、365日24時間を休むことなく、毎日200〜300人の工事スタッフを羽田空港まで運び続けた。

交通船は時速34km、遊覧船の2倍のスピードで颯爽と海を走る。船に乗るスタッフ達は、滑走路の柱となる鋼管を海底70mに打ち込む役。長さ90mもある鋼管を海上クレーンで一本ずつ運び、一晩かけて3〜4本。通常7〜8年かかる工事を、見事3年間で完成させたという。「昼夜問わず海に陸に、たくさんの方がこの場所で働いていたんだよ」



「大海原を走りたい」という夢を持ち、18歳で海の世界へ。外国船の航海士だった永井さん。奥さんとは文通から交際がスタートし、行く先々の国の港へ、毎日のように手紙が届いていたとか。





工場夜景クルーズでは、狭い航路にまで入り込む。永井さん流で「川崎の海に浮かぶ世界遺産・モンサンミッシェル」。

観光船へと生まれ変わった サンタバルカ号。

新空港の完成に伴い、サンタバルカ号は役目を終えた。永井さんは愛着のあるサンタバルカ号に、次なるミッションを与えた。交通船だからこそ、見て来た風景がある。それは、日本の発展を支えてきた裏側の物語。サンタバルカ号と共に、海から眺める風景で日本の歴史を伝えていこうと考えた。

こうして、交通船から観光船へと生まれ変わったサンタバルカ号。元大型船航海士の永井さんの手にかかれば、海のご機嫌うかがいは、お手の物。鶴見航路と京浜運河の交差点にある信号「I」とは、



異国情緒漂うサンタバルカ号の波止場・横浜港。

港へ戻るときに見上げる横浜ベイブリッジ。永井さんが一番好きな景色。





石油精製の工場や鉄スクラップの山など、高度経済成長を支えた工場群は迫力抜群。機械の音と波の音が時を刻む。

永井さんいわく「行って良し！」の合図（正式には「in」の略）。飛行機や工場夜景を仰ぐほどギリギリまで岸に近づき、「LEDを使った地球に優しいこちらの工場は、川崎の『モンサンミッシェル』でございませう」。旧式のライトが灯る幻想的な『ハウルの動く城』が見えてきました〜。その迫力に乗客は歓声を上げる。世界を旅してきた永井さんのユニークなツアーに、他県からの常連ファンも増えた。

そして今春、サンタバルカ号の妹分「ベネチア号」も誕生。日ノ出町の「横浜日ノ出棧橋」をベースとし、大岡川を下り東京湾へ。ベネチア号は、水辺から街の『ミライ』を見守って行く。古を学び、日々新たに。永井船長率いる2隻の船は、今日も日本の過去と未来をクルーズする。



大岡川クルーズでは、アーチ形やレンガ造りなど41の橋の下を通って行く。川沿いに咲く桜が満開の頃は幻想的。



～ヨコハマクルージング～

- COURSE
① 羽田空港新滑走路海上観覧 (サンタバルカ号)
- COURSE
② 工場夜景探検クルーズ (サンタバルカ号)
京浜運河コース/本牧・根岸コース
- COURSE
③ 大岡川探検クルーズ (ベネチア号)

株式会社 東京ベイガード <http://santa-barca.com>

おさらいINFO

クルージングコースと共に、
永井さん行きつけのお店をピックアップ。

街で船を見かけたら
手を振ってね♪



① 「美食の館」遊膳 グレビー

グレビーソースを使ったピーアッシュューが看板メニューの和洋折衷料理店。個室もあり団体客も歓迎。ガラス張りの店内からは大岡川の景色を堪能。



☎045-252-7315 ⑤ 横浜市中区日ノ出町1-24 / 「日ノ出町駅」から徒歩約3分 ⑥ 11:30 ~ 15:00、17:00 ~ 22:00 (LO 21:30) ⑦ 水曜日、年末年始

② 象の鼻テラス

アートのスペースやカフェを備えたレストハウス(休憩所)。象の形の濃厚ソフトクリームは美味。日曜日にマルシェを開催。



☎045-661-0602 ⑤ 横浜市中区海岸通1/みなとみらい線「日本大通り駅」から徒歩約3分 ⑥ 10:00 ~ 18:00 (都合により変更あり) ⑦ 年末年始

③ 横浜ロータス

天然酵母や有機栽培の自然素材にこだわったベーカリーカフェ。ピンクのワゴンカーが目印。海を眺めながらお店のパンチでのんびり。



☎045-664-2193 ⑤ 横浜市中区海岸通1-1/みなとみらい線「日本大通り駅」から徒歩約3分 ⑥ 11:00 ~ 20:00 ⑦ 月曜日



※クルージングコースは天候などにより変更になる場合があります。

PLAY BACK NAGISA

なぎさ60周年企画

プレイバックなぎさ

1970年代 ➡ 1980年代編



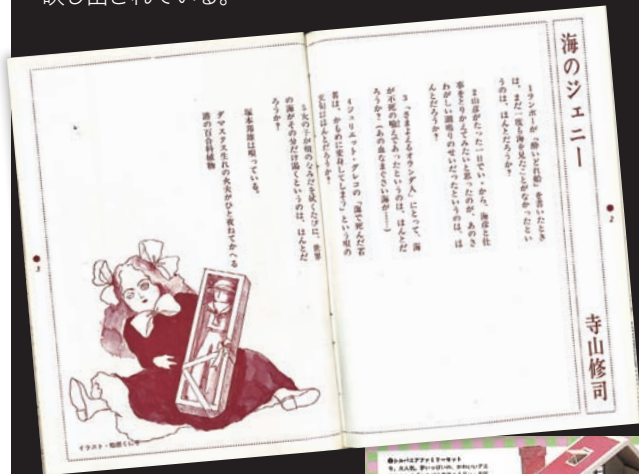
70年代、80年代の『なぎさ』は、1枚写真を贅沢に使ったハイセンス志向。心弾むエキサイティングなページを多数世に送り出した時代でもある。著名な執筆者、専属モデルの起用、豪華なプレゼント。バブル時代の“気流”が、いい意味で映し出されている。



1975年7月号
ファッションページと思いきや、お中元広告。



1978年5月号
「カラープリント完成 12時間」には、時代を感じる。



1978年10月号
『書を捨てよ、町へ出よう』で知られる寺山修司の連載は大きな話題に。



1975年8月号
表紙はまさにファッション誌風。



1986年1月号
憧れの『シルバニアファミリー』をセットでプレゼントだなんて!

京急電鉄の謎④ 駅名シリーズ其の一

梅の花に込められた歴史

History of UMEYASHIKI Sta.
梅屋敷駅の歩み

- 1901 (明治 34)年
六郷橋一品川間延伸工事完成に伴い、開業
当時は道路上の停留場だった
- 1923 (大正 12)年
梅屋敷～雑色間に新設された
専用軌道に移転
- 2012 (平成 24)年
2010年のより線に続き下り線も高架化
車両のドア締切が解消
- 2013 (平成 25)年
京急線初となる副駅名「東邦大学前」
を導入

約150年後の
「梅屋敷駅」



上/大森の「和中散」の店前を行く大名行列『東海道名所大森』広重 国立国会図書館デジタル化資料収蔵
左/かつて東海道だった第一京浜の傍に位置する「梅屋敷駅」。連続立体交差事業により高架化。

時は江戸時代。1717年頃、東海道沿いの大森村には、「和中散」という薬を売るお店が3軒あった。食あたり、暑気あたりなどに効いた道中常備薬「和中散」は、旅の土産にもなり、東海道を行く旅人らに重宝されていたそうだ。諸説あるが、発祥地は近江国栗太郡地藏村（現在の滋賀県栗東市六地藏）の梅木だと言われている。

大森村の3軒のうち、一番大きなお店が、南原（現在の東森東1丁目）にあった「梅木堂」だ。これを商人・山本忠左衛門が譲り受け、隣の北蒲田村（現在の蒲田）に移転した。その後、息子の久三郎が3000坪の敷地に梅の木数百本と花木を植え、東海道の休み茶屋を設けたところ、「梅屋敷」と呼ばれる、たいそう繁盛した茶屋になった。これが、京急「梅屋敷駅」の名の由来である。

「梅屋敷」は、徳川将軍家が鷹狩りの際の休憩所にした他、幕末になると、高杉晋作をはじめ諸藩の藩士らが、花を愛でるに名を借りて、密議をこらす場にしたとか。また明治に入ってから、天皇の9度の行幸があり、1873年の観梅の際は、小梅ひと株を天皇自らお手植えになり、この梅は「仙粧梅」と称された。

多くの人々に愛され、華々しい歴史に彩られた「梅屋敷」だが、所有者変更による流転、1918年に行われた第一京浜国道拡幅による敷地縮小などを経て、1953年から、大田区が管理する「聖蹟蒲田梅屋敷公園」となった。現在、公園では約100本の梅の木を見ることができ、梅の見頃の時期になると、毎年たくさんの人々を迎え、梅と共にあったこの地の歴史を伝えている。

vol.04

いま、見えてくる
京急沿線の未来

"三浦はぼくたちの遊び場だ!"

みうら自然育児「すももの会」

わんぱく
Q&A

Q. 三浦のいちばんの「たからもの」は?

石橋悠さん

君島奈保子さん



きれいな石をみつけたよ!



A. ぼくたちだよ!

「土と水の手だけでお米を育ててみよう!」。三浦市の田んぼの一角に集まったのは、「すももの会」の親子たち。今日の作業は、草刈りに種まき、水路の清掃。4、5歳の小さな子どもも、立派な戦力になる。

自身も子育て中という石橋さんと君島さんが主宰の「すももの会」は、城ヶ島・下町活性化事業を行う「城ヶ島つるやプロジェクト」から派生した自然育児サークル。子どもの視点に合わせた文化交流活動をコンセプトに、地元・三浦の自然や環境を存分に活かして、四季折々の野外遊びに加え、田んぼや畑づくり、ビーチクリーン活動を行っている。遊具がなくても思いっきりあはれる子どもたち。大人が重心に帰って楽しめるのも醍醐味だ。それが、会の輪をどんどん大きくしている。

メンバーの中には、結婚を機に三浦市に引っ越してきたという人も多い。あるお母さんは、縁もゆかりもない土地での子育てに不安を感じていたというが、「すももの会」で自然に触れてはしゃぐ子どもを見て、もつと子どもを産みたいと思うようになったとか。また、会の活動に共感し、市外から参加している親子も。「ありのままの自然が残る三浦は、どんなところでも「遊び場」や「学び場」になる。それがいいんです」。

現在「すももの会」は、月に3回ほどの活動だが、「いつか幼稚園をつくりたい」と、石橋さんと君島さんは真剣な眼差し。自然の循環と共に成長する子どもたち。半島を囲む海、目の前に広がる田畑を舞台に、きつと自然を活かしたまちづくりを、「遊び」の中から見つけてくれるはず。

いしはろはるか
石橋悠さん
きみしまなほこ
君島奈保子さん

2010年に「すももの会」を立ち上げる。ネーミングの由来は、すももが赤ちゃんのお尻に似ているから!?

<http://mirakana.com/tsuruya/sumomoabout>

2016年4月16日(土)



九度山のまちなか休憩所

A 真田いこい茶屋

散策にうれしい、まちなか休憩所。地元のお母さんたちによるお茶の無料サービスや、うどん 420 円などの軽食、特産品も販売。ふらりと立ち寄れば、ほっこりした気分に。



☎0736-54-9058
住所／和歌山県伊都郡
九度山町九度山1722-1
OPEN／11:00～16:00
定休日／木曜



南海電鉄 & 京急電鉄
コラボ企画



ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

(特別編)

南海電鉄・高野線

くどやま
九度山駅編

真田幸村ゆかりの隠れ里

NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田幸村(信繁)が、大坂の陣までの14年間を過ごした和歌山県九度山町。高野山の麓に広がる緑と清流の里山へ、幸村たちの面影を探しに出かけよう!

この街のおもしろ ルール 5

- 1 真田のみちを歩けばタイムトリップ気分
- 2 街のあちこちに真田十勇士や六文銭が!
- 3 幸村のことがよくわかる新スポット誕生!
- 4 地元のおばちゃんたちが温かい
- 5 “井戸”や“抜け穴”にヒミツあり!?

南海高野
ほっと・ねっと

高野山・九度山の魅力や最新情報は…

南海高野ほっと・ねっと | 検索

<http://www.nankaikoya.jp>



南海電鉄高野線では、幸村の赤備え甲冑をモチーフにした「南海・真田赤備え列車」が運行中! 「九度山駅」も赤備え仕様に装飾して、真田ムードが最高潮!



京急線沿線から九度山へは飛行機 or 新幹線で大阪へ。南海電鉄なんば駅からは約65分!

帰郷の想いかなわず、ここで亡くなった父・昌幸を祀る真田地主大権現。



C 幸村らの九度山での日々がわかる 九度山・真田ミュージアム

この春オープンした話題のミュージアム。昌幸や幸村の当時の様子などを、ドラマ仕立ての映像や大型パネルでわかりやすく紹介。九度山時代を再現した部屋



には意外なからくりも仕掛けられていて、幸村らの日常をリアルに体感できる。期間限定の「くどやま『真田丸』大河ドラマ展」も必見。



からくりが仕掛けられた部屋で、設置された六文銭のスイッチを押してみると…？ 九度山時代の幸村らの様子を12分間のドラマ映像で伝える「真田シアター」。

☎0736-54-2727

住所／和歌山県伊都郡九度山町九度山1452-4

OPEN／9:00～17:00(最終入場16:30)

入館料(当日)／大人(高校生以上)500円、小人(小・中学生)250円

B 真田父子の想いが宿る屋敷跡 真田庵(善名称院)

関ヶ原の戦い後、父・昌幸や幸村が蟄居していた屋敷跡に建つ寺院。門や瓦の六文銭や家紋の結び雁金、往時を偲ばせる。併設の「真田宝物資料館」には真田家の貴重な品々も展示。

☎0736-54-2019(九度山町産業振興課)

住所／和歌山県伊都郡九度山町九度山1413

OPEN／9:00～16:00

入館料／200円(真田宝物資料館)



九度山 おみやげセレクション

F 柿の葉すし

肉厚な鯖とまるやかな酢飯が相性抜群！秘伝の調理法で、冷めても美味しい！

◆柿の葉すし 九和楽

1,080円
(鯖9個入り)

☎0736-54-2600

和歌山県伊都郡九度山町九度山1353

8:00～売切れまで 不定休



G 真田紐ストラップ&キーホルダー

幸村も織っていたという真田紐。強度がありストラップに最適。1m単位(100円～)でも購入可能。

各500円

◆梅下百貨店

☎0736-54-2059

和歌山県伊都郡九度山町九度山1447

7:30～19:30 不定休



H ゆっきーマグネット

九度山町文化・観光大使「ゆっきー」と子・大助の可愛いマグネット。

◆招福庵

540円

☎0736-54-3500

和歌山県伊都郡九度山町九度山1607-3

10:30～16:00 月曜休(祝日の場合は営業)



屋敷内に落ちた雷を幸村が井戸に封じた(!?)という伝説の「雷封じの井」。

D これって抜け穴!?

D 真田古墳

紀伊藩に行動を監視されていた幸村が、大坂城へ出陣する際、この穴から密かに脱出した(!?)との言い伝えが残る真田古墳。電柱の幸村のイラストもキュート!



E 幸村も使っていた!?

E 真田の井戸

幸村が実際に暮らしたとされる邸宅跡に残る井戸。この井戸で幸村が顔を洗っていたと想像すると楽しい。現在は民家の敷地内なので、見学はマナーを守って。

■ 京急電鉄 × シーサイドライン × 横浜・八景島シーパラダイス

第16回 八景島あじさい祭

神奈川県内最大級の約2万株のあじさいが八景島を彩ります。期間中、京急とシーサイドラインに乗って八景島へ行くと、オリジナル手ぬぐいがもらえます。また、「新種のあじさいに名前をつけよう!」など、イベントが盛りだくさん。



プレゼントキャンペーン

駅で配布中のリーフレットに指定駅でスタンプを押すと、八景島アクミュージアム前広場特設テントでオリジナル手ぬぐいをプレゼント(各日先着100名様、引き換え時間9:00~15:00、お一人様1回限り)。スタンプ設置場所/京急線杉田駅または金沢八景駅、シーサイドライン八景島駅改札内

新種のあじさいに名前をつけよう!

9:00~15:00 アクミュージアム前広場特設テントにて投票受付
※応募はお一人様1回限り

あじさいトレイン

10:30~18:00(平日) 10:00~20:00(土日) 1回500円
※ワンデーパス、プレジャーランドパス、トワイライトバス利用可

- 期間・開場時間 / 6月4日(土)~6月26日(日) 8:30~21:30(平日) 8:30~22:30(休日) ※横浜・八景島シーパラダイスの営業時間は異なります。
- お問い合わせ / 03-5789-8686 (京急ご案内センター)

■ 横須賀市

よこすか YY のりものフェスタ 2016

電車で消防車や救急車、海上自衛隊の艦艇など、様々な「のりもの」が大集合。子ども向けの制服記念撮影やよこすかグルメの出店、ステージイベントも。家族みんなで楽しもう。



■ 京急電鉄 × 横須賀市 第2回よこすか京急沿線ウォーク 2016

\\同時開催\\ よこすか YY のりものフェスタウォーク

- 実施日 / 6月11日(土) ※荒天中止 ■ コース/追浜駅(スタート受付/9:00~11:00)~長浦港~安針台公園~汐入駅(ゴール)
- お申込み・参加費/不要 ■ お問い合わせ / 046-822-8124 (平日 9:00~17:00 横須賀集客促進実行委員会)

■ 京急電鉄 × カブコンコラボ第3弾

「逆転裁判 6」京急沿線ミステリーラリー 京阪・名鉄でも同時開催!!

「よこすかグルメさっぷ」で謎解きラリーに挑戦。指定された駅や施設を巡って、真犯人を暴こう! 京阪・名鉄でも同時に事件が起きる! 3編をクリアすると更なるお楽しみが……。



- 期間 / 6月9日(木)~7月31日(日)
- お問い合わせ / 03-5789-8686 (京急ご案内センター)
- 詳細 / <http://www.keikyuko.jp/information/recommend/gyakuten2016/>

■ 京急電鉄

京急カレンダー 2017 写真募集

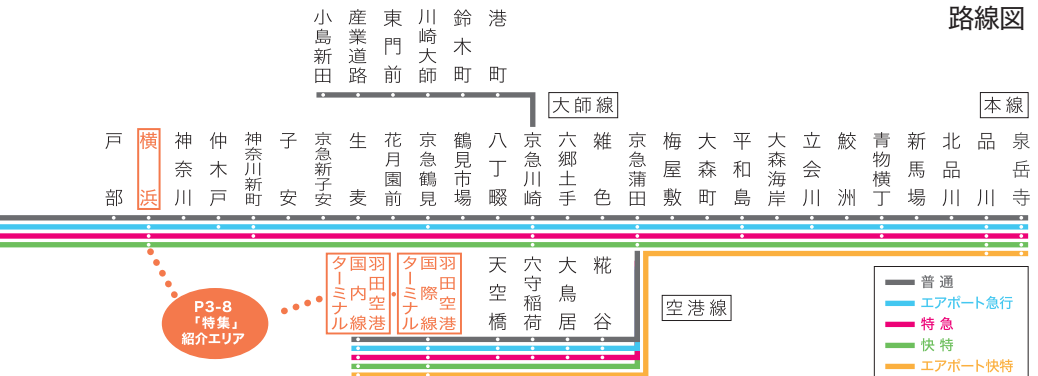
今年も「京急カレンダー」の写真募集します。京急電車と沿線の風景を写した、とっておきの一枚をお待ちしています。



- 作品規定 / JPEG ファイル形式で撮影された写真に限る ■ 応募資格 / 日本国内在住の方 ■ 応募締切 / 7月18日(月・祝) 当日消印有効 ■ 詳細 / <http://www.keikyuko.jp>

- 実施期間 / 6月11日(土)~12日(日) 10:00~16:00 ※荒天中止
- 会場・アクセス / ●ヴェルニー公園:「汐入駅」から徒歩約5分 ●海上自衛隊横須賀地方総監部:「汐入駅」から徒歩約15分 ●三笠公園:「横須賀中央駅」から「横須賀中央・三笠循環バス」で約4分
- お問い合わせ / 046-822-8301 (9:00~17:00 横須賀観光インフォメーションスナビ) / 046-822-2500 (開催有無のご確認 横須賀市コールセンター/当日 7:00以降)
- 詳細 / <https://www.cocoyoko.net/event/norimono-fes.html>

路線図



京急 大人の讃歌

いのちの集まる流域

小網代の森散策ガイドツアーと日帰り入浴



※写真はイメージです。

小網代のシンボル「アカテガニ」をはじめ 2000 種類以上もの生き物が暮らす自然の宝庫を、NPO 法人「小網代野外活動調整会議」スタッフがご案内。夏の小網代ならではの生き物を探しながら、濃緑の空気を味わいませんか？ 散策の後は、ホテル京急油壺観潮荘で日帰り露天風呂と三崎まぐろの昼食が皆さまをお待ちしています。

■ ツアー一催行日 / 7月26日(火) ■ 集合場所と時間 / 「三崎口駅」改札口前に9:30 ■ コース / 三崎口駅～(路線バス)～引橋～小網代の森散策～(マイクバス)～ホテル京急油壺観潮荘(入浴・まぐろ料理の昼食)～現地解散(14:30頃) ■ 募集人数 / 30名(最少催行人数20名) ■ 料金 / 大人お一人様4,500円(税込) ■ お申込み・お問い合わせ / 03-5767-9717(平日10:00～17:00 京急観光)

■ 京急百貨店

新婦人靴売場の名称募集!

6月2日、拡大リニューアルした3階婦人靴売場ではネーミング募集を開催。ぜひご応募ください。

■ 応募期間 / 6月2日(木)～6月30日(木)



「Every Little Thing」20th パネル展

京急百貨店開店20周年と「Every Little Thing」デビュー20周年を記念したスペシャルコラボレーションキャンペーンを開催。

■ 展開期間 / 5月26日(木)～7月13日(水)

■ お問い合わせ / 共に045-848-1111(代表) <http://www.keikyudo-depart.com>



■ 梅若研究会

第8回 よこはま能の会

能「竹生島」俊寛、狂言「二九十八」。ドラマチックな舞台をご堪能あれ。チケット購入者は、7月2日(土)の事前学習会に無料でご参加いただけます。

■ 日時 / 7月18日(月・祝) 13:30 開演

■ 会場 / 横浜能楽堂 (「日ノ出町駅」から徒歩18分)

■ 入場料 / S席7,000円 A席5,500円 B席4,000円

※全席指定 ※学生は全席1,000円引き

■ 詳細 / <http://www.umewakakennohkai.com/>

■ お申込みお問い合わせ / 03-3466-3041(梅若研究会)・090-8508-0553(伊藤)・045-481-8704(加藤)・0120-240-540(平日10:00～18:00 カンフェイ)



PRESENT

Ⓐ 第8回よこはま能の会 ご招待券3組6名様

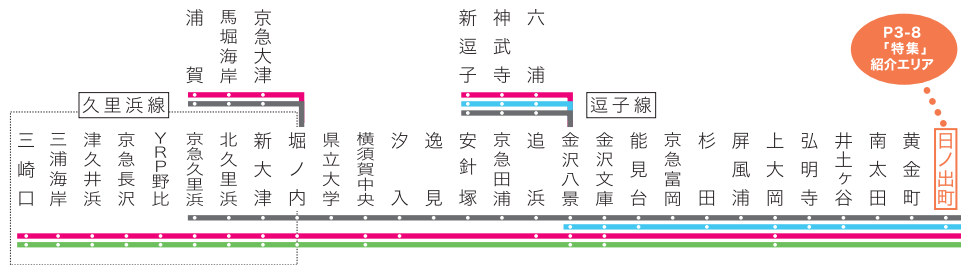
Ⓑ 京急オリジナルノベルティ 5名様

はがきに①郵便番号・住所・電話番号、②氏名・年齢、③本誌の入手場所、④今号で面白かった記事、⑤本誌デザイン・内容についての感想、⑥ⒶまたはⒷのご希望の賞品をご記入のうえ、ご応募ください。

締め切り**6月20日(月)必着**
※当選の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 / 〒108-0074 港区高輪3-25-23 京急第2ビル3F
(株)京急アドエンタープライズ
『なごさ』596号 プレゼント係

次号は2016年8月1日(月)発行予定です



www.keikyudo.co.jp

「京急沿線マガジン」バックナンバーは、京急電鉄公式サイト「KEIKYU WEB」でお楽しみください。



あたらしいウィングから、
あたらしいカワサキへ。

ウィング川崎 GRAND OPEN!



- | | | | | | |
|----------------------------|------------------------|-----------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------------|
| chawan | HANDS CAFE | 二つ子 THE PAIR & CAFE CUISINE | SEAFOOD POP & OYSTER the Steam | T's 5th FLOOR TOKYO EBI-ISHI | TULLY'S COFFEE |
| ゆまや YAMAYA | BAGEL & BAGEL | P | 鳥とり多津 | RINGO | |
| こめらく | POMPADOUR | まよひ | Beauté Gare | arenot | |
| COCOCA | Marche de Bleu et plus | ユサワヤ | Raffine | Angelie | |
| Queensway Relaxation Salon | HAIR DRESSER | 住いの相談窓口 京急すまいるステーション | 保険見直し本舗 | | |

京急川崎駅
中央改札口 直結!

くらしに寄り添う駅直結のショッピングプラザ
あなたのステキな毎日を彩る25ショップ

Wing
KAWASAKI



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (平日7:30~21:00 土日祝日9:00~17:00)
※営業時間は変更になる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-441-0999
京急ホームページ www.keikyu.co.jp

KEIKYU
京急電鉄